

**第38回全国J Cサッカー選手権大会
愛知刈谷大会**

**新型コロナウイルス感染症対策
実施マニュアル**

令和4年5月18日作成

一般社団法人刈谷青年会議所
全国J Cサッカー選手権大会 実行委員会

目 次

1. 本マニュアルについて	3
2. 事業実施体制及び感染疑い・発生時連絡先	3
3. 感染症対策の基本的な考え方	3
4. 参考とするガイドライン	4
5. 本事業における感染リスクの全体像	4
6. 想定される感染リスクとその対策	5
(1) 運営事業者の感染リスクと対策	5
(2) 競技者の感染リスクと対策	7
7. 参加制限・参加資格	9
8. 健康管理・確認	9
(1) 運営スタッフの健康管理	9
(2) 競技者の健康管理	9
9. 感染疑い・発生時の対応	10
(1) 運営スタッフ	10
(2) 競技者	11

1. 本マニュアルについて

本マニュアルは、第38回全国J Cサッカー選手権大会 愛知刈谷大会を開催するにあたり、参加者が安心してサッカーを通じた交流を図ることができる大会運営を構築するとともに、参加者及び運営スタッフの安全を確保するため徹底すべき事項をまとめたものです。

2. 事業実施体制及び感染疑い・発生時連絡先

本事業は、次の体制により実施します。

団体名	役職	氏名	緊急連絡先
全国J Cサッカー選手権大会実行委員会	実行委員長	山田 悠貴	090-7865-2026
	大会運営担当者	桂 周史	090-3152-5778

感染疑い・発生時の連絡先は次の通りです。

名称	緊急連絡先
衣浦東部保健所	0566-21-4778

3. 感染症対策の基本的な考え方

本大会を安全に実施するためには、感染症対策を徹底した事業運営に取り組んでいく必要があります。

運営スタッフのみならず、参加者全員で感染予防に対する意識を合わせ、しっかりと取り組んでいくための体制を構築していきます。

4. 参考とするガイドライン

発行者	名称	発行・更新日
公益社団法人 日本青年会議所	祭り・イベント等開催に向けた感染拡大 予防ガイドライン	令和2年12月5日

5. 本事業における感染リスクの全体像

本事業において感染リスクが想定される主体は、「運営事業者」「競技者」となります。

主体	事業者	感染リスクのある場面
運営事業者	<ul style="list-style-type: none"> ○全国J Cサッカー選手権大会実行委員会 ○会場管理団体 ○審判団 ○看護スタッフ 	<p>① 開催前及び開催後の作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 共用備品等への接触感染 ○ 関係団体との打ち合わせ時の飛沫感染 ○ その他日常生活（旅行、家族など） <p>② 開催日当日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 控室及び待機場所での三密発生 ○ 受付時の飛沫感染 ○ 競技者への看護時の接触感染 ○ マスクを外して昼食を取る際の飛沫感染 ○ 共用トイレを使用するときの接触感染 ○ 不特定多数の者が使用した場所への接触感染 ○ 撤収・片付け時の接触感染
競技者		<p>① 開催前及び開催後の作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 移動時の三密発生 ○ その他日常生活（旅行、家族など） ○ 飲食店での飲食時の飛沫感染 <p>② 開催日当日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 待機場所での三密発生 ○ 受付時の飛沫感染 ○ 競技中の接触感染 ○ マスクを外して昼食を取る際の飛沫感染 ○ 共用トイレを使用するときの接触感染 ○ 不特定多数の物が使用した場所への接触感染 ○ 荷物を片付ける際の接触感染

6. 想定される感染リスクとその対策

(1) 運営事業者の感染リスクと対策

全国ＪＣサッカー選手権大会実行委員会・会場管理団体・審判団・看護スタッフ

① 開催前及び開催後の作業

場面	想定リスク	感染症対策
準備中	共用備品等への接触感染	共用備品等は定期的に清掃・消毒を行い、使用後には手洗い又は手指消毒を行う。
打ち合わせ時	関係団体との打合せ時の飛沫感染	打ち合わせの際は参加者に手指消毒、検温、マスク着用の徹底を依頼する。
		対面の必要がない場合はオンラインも活用して打ち合わせを行う。
		座席の間隔を空けるか、難しい場合は打ち合わせテーブルにパーテーションを設置するなど飛沫防止対策を行う。
		打ち合わせ後は使用したテーブルなどをふき取り消毒するとともに、手洗い又は手指消毒を行う。
その他の日常生活	日常生活における接触、飛沫感染	その他の日常生活においても、人が密集する場所でのマスク着用と帰宅後の手洗いを徹底する。
		家族に対して感染症対策を説明し、運営事業者と同程度の対策の協力を依頼する。
		家族が感染または感染を疑わせる症状がある場合は、出勤せず自宅で待機または在宅で勤務する。
	家族が感染した場合の家族内感染	保健所に問合せ、指示に従う。また、準備作業等への参加は控える。
		家族も含めて、スマートフォンに接触確認アプリCOCOAをダウンロードする。

② 開催日当日

場面	想定リスク	感染症対策
集合時	控室及び待機場所での三密発生	広い控室及び待機場所を確保し、すべての運営事業者にマスク着用・検温と手指消毒を徹底する。
受付時	受付時の飛沫感染	受付に当たる運営事業者はマスク、フェイスシールド、手袋を着用し、使用済の手袋は使い回さずその都度廃棄する。
		受付作業において必要書類等の受渡しを行った際は、手洗い又は手指消毒を行う。
怪我人発生時	競技者への看護時の接触感染	看護に当たる際はマスク、フェイスシールド、手袋を着用し、使用済の手袋は使い回さずにその都度廃棄する。
昼食・休憩時	マスクを外して昼食を取る際の飛沫感染	食事前に手洗い又は手指消毒を行い、休憩時もスタッフ同士の距離を2m以上空ける。
		飲食している時以外は休憩中もマスクを着用する。
		複数名で食事をする場合は対面ではなく、横並びで座るようにする。
トイレ使用	共用トイレを使用するときの接触感染	ドアノブなど共用部分を触る前後で手指の消毒、手洗いを徹底する。
		排泄物を流すときは、便器のフタを閉めて流す。
		ドアノブなど共用部分は定期的に消毒を行う。
常時	不特定多数の者が使用した使用した場所への接触感染	ベンチのテント及び椅子は使用チームが交代する度に消毒を行う。
撤収・片付け時	撤収・片付け時の接触感染	会場にゴミ箱は設置せず、ゴミは観客自ら持ち帰ることとする。投棄されたゴミを収集する場合はマスクと手袋とフェイスシールドを着用し、作業後の手袋は廃棄する。
		マスクは解散まで着用し、終了後に手洗い・手指消毒を徹底的に行う。

(2) 競技者の感染リスクと対策

本大会への出場選手

① 開催前及び開催後の作業

場面	想定リスク	感染症対策
移動時	移動時の三密発生	移動時もマスクを着用し、交通機関を利用する場合は間を空けて座るなど、適切な距離を保つ。
その他の日常生活	日常生活における接触、飛沫感染	その他の日常生活においても、人が密集する場所でのマスク着用と帰宅後の手洗いを徹底する。
		大会2週間前から毎日検温を行い、体調チェックシートに記入する。
		家族が感染または感染を疑わせる症状がある場合は、出勤せず自宅で待機または在宅で勤務する。
家族が感染した場合の家族内感染	家族が感染した場合の家族内感染	保健所に問合せ、指示に従う。また、本大会への参加は控える。
		家族も含めて、スマートフォンに接触確認アプリCOCOAをダウンロードする。(推奨)
飲食時	飲食店での飲食時の飛沫感染	コロナ対策が施された飲食店を利用する。
		大人数、長時間に及ぶ飲食は控える
		会話時はマスクを着用して行う。
		箸や皿の共有は控える

② 開催日当日

場面	想定リスク	感染症対策
集合時	待機場所での三密発生	参加者同士の距離を1 m以上保ち、マスクを着用する。
受付時	受付時の飛沫感染	マスクを着用し検温を行う。
		参加者全員の体調チェックシートを提出する。
		必要書類等の受渡しを行った際は、手洗い又は手指消毒を行う。
競技中	競技中の接触感染	ウォーミングアップ、競技中以外はマスクを着用する。
		選手同士のハイタッチや握手、円陣など必要以上の接触は控える
		飲料水の回し飲みは行わず、各個人で用意する。
昼食・休憩時	マスクを外して昼食を取る際の飛沫感染	食事前に手洗い又は手指消毒を行い、休憩時もスタッフ同士の距離を2 m以上空ける。
		飲食している時以外は休憩中もマスクを着用する。
		複数名で食事をする場合は対面ではなく、横並びで座るようにする。
		距離を保つことが難しい場合は、飲食の時間をずらす等の措置をとって密集を回避する。
トイレ使用	共用トイレを使用するときの接触感染	ドアノブなど共用部分を触る前後で手指の消毒、手洗いを徹底する。
		排泄物を流すときは、便器のフタを閉めて流す。
常時	不特定多数の者が使用した使用した場所への接触感染	スタッフがベンチのテント及び椅子を使用チームが交代する度に消毒を行う。
片付け時	荷物を片付ける際の接触感染	できる限り、ごみは各自で持ち帰る。
		マスクは解散まで着用し、終了後に手洗い・手指消毒を徹底的に行う。

7. 参加制限・参加資格

本大会に関わるすべての人が安心して参加できるように、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から以下の参加制限・参加資格を設けます。

参加制限(以下に項目に該当する場合は参加不可)

- ・緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が発令されている地域からの参加
- ・体調が優れず、新型コロナウイルスの感染が疑われる方
- ・大会開催2週間前からの期間において、37.5度以上の発熱があった方
- ・大会開催2週間前からの期間において、新型コロナウイルス感染者と濃厚接触があった方
- ・大会開催2週間前からの期間において、政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある方

参加資格

- ・本マニュアルの趣旨及び内容を十分に理解し、遵守できる方

8. 健康管理・確認

(1)運営スタッフの健康管理

- すべての運営スタッフは、毎朝自宅にて検温を行い、「健康管理チェックシート」に記入します。
- すべての運営スタッフは、新型コロナウイルス感染症確認アプリ（COCOA）を日常的に持ち歩くスマートフォンにインストールします（※スマートフォン非保有者除く）
- 日常生活での感染拡大を防ぐため、マスクの着用を全員が徹底し、手洗いまたはアルコールによる手指消毒を行います。

(2)競技者の健康確認

- すべての競技者は、毎朝自宅にて検温を行い、「健康管理チェックシート」に記入します。
- すべての競技者について入場前に検温と消毒で体調確認を行います。
- すべての競技者にプレー中以外のマスク着用をお願いし、未着用の方にはマスクを配布し、感染症対策への協力を呼びかけます。
- すべての競技者に対して、新型コロナウイルス感染症確認アプリ（COCOA）を日常的に持ち歩くスマートフォンにインストールするよう勧奨します（※スマートフォン非保有者を除く）。

9. 感染疑い・発生時の対応

(1) 運営スタッフ

① 感染疑い時の対応

- すべての運営スタッフは、次の条件に該当した場合、実行委員長に連絡した上で原則自宅待機し、実行委員長の指示を仰ぐものとします。

- ・ 37.5度以上の発熱がある場合
- ・ 咳、のどの痛みなど風邪症状がみられる場合
- ・ 味覚や嗅覚に異常（味がわからない等）、強いけん怠感など、新型コロナウイルス感染症の特徴となる症状がみられる場合
- ・ COCOAより感染者との接触が通知された場合

- 実行委員長は当該スタッフの様子を確認しながら、状況に応じて保健所または帰国者・濃厚接触者相談センター等へ連絡させるようにします。

② 感染発生時の対応

- 運営スタッフの感染が確認された場合、保健所等の指示に従って対応します。
- 保健所等の濃厚接触者に関する調査の協力のため、実行委員長は感染したスタッフと接触した可能性のあるスタッフ及び競技者をできる限り調べ、リストを作成します。リストアップの対象は、感染したスタッフの発症日から2日前以降に当該スタッフと濃厚接触（対面で互いに手を伸ばしたら届く距離で15分以上接触があった場合）した人としてします。
- 実行委員長は、実行委員会、各チームの代表者、全ての運営スタッフに個人情報の取扱いに留意しながら、感染者が発生した旨を共有します。

(2) 競技者

① 感染疑い時の対応

- 次の条件に該当する競技者があった場合、そのまま競技を継続するのはリスクがあるため、別室等で待機していただき保健所または帰国者・濃厚接触者相談センター等に連絡します。

- ・ 37.5度以上の発熱がある場合
- ・ 咳、のどの痛みなど風邪症状がみられる場合
- ・ 味覚や嗅覚に異常（味がわからない等）、強いけん怠感など、新型コロナウイルス感染症の特徴となる症状がみられる場合
- ・ COCOAより感染者との接触が通知された場合

- 実行委員長は当該スタッフの様子を確認しながら、状況に応じて保健所または帰国者・濃厚接触者相談センター等へ連絡させるようにします。

② 感染発生時の対応

- 保健所等から、本大会に参加した競技者が感染していたと連絡があった場合は、保健所等の指示に従って対応します。
- 保健所等の濃厚接触者に関する調査への協力のため、実行委員長は感染した競技者と接触した可能性のあるスタッフ及び観客をできる限り調べ、リストを作成します。
- 実行委員長は、実行委員会、各チームの代表者、全ての運営スタッフに個人情報の取扱いに留意しながら、感染者が発生した旨を共有します。